

# 平成19年度 長野県農業大学校入学式

# 農業大学校だより

vol.5



## 七十二名の新入生が入学

平成十九年度入学式

4月10日、平成19年度長野県農業大学校入学式が行われ、これからの新しい生活への希望に胸を膨らませながら、総勢71名の新入生が入学しました。県農政部長や同窓会長等の来賓のご臨席のもと、総合農学科1年生は、緊張した面持ちで、新しい学校生活をスタートさせました。



松代キャンパス 全景

## 実践は成長の糧

農業大学長 牧野内 生義



種蒔き、植付け、摘花・摘果と春の作業で忙しかった実習圃場も、梅雨に入っ  
てじっくり成長の季節を迎えています。

新年度になって三カ月が経ち、農大松代キャンパスでは、新入生、教職員ともに、少しずつ緊張がほぐれ、最初の難関である実物鑑定を修了させ、専攻コースも決まり、じっくり実践学習に取り組んでいます。

小諸キャンパスでは、その広さにとまどったのも束の間、来春の就職活動に気忙しい毎日でしたが、内定が増えるともにプロジェクト学習に熱が入り始めています。「見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって、五感を総動員して実践学習を」と入学式で述べましたが、一年生も二年生もその顔つきが日に日に変わっていくのを見るに付け、実践こそは成長の糧であることを改めて認識しております。そして、同時に教職員も成長していることに感銘を受けています。

## 作物コース

コース長 宮澤たえみ



今年作物コースを専攻しているのは七名で、そのうちの五名がコシヒカリとオラガモチの栽培に取り組み、残りの二名が畑作でダツタンソバとキノア(雑穀の一種)を栽培しています。二年生になって初めのうちこそコース内の空気に少し違和感がありましたが、みんなで作業をするにつれだんだん意気投合してきました。いよいよこれからプロジェクト学習の追い込みですが、おのおの自覚を持って取り組んでいます。草刈りが上達して楽しいですよ!(笑)

## 畜産コース

コース長 片桐直樹



畜産をしていく上で大切なことは、生きていく動物を扱うので毎日の餌やり、除糞、体調管理と観察を必ず行います。また、このことが一番大変な事でもあるのですが、その分家畜が可愛く思えてきます。プロジェクトの対象となっている家畜は、牛・豚・採卵鶏・ブロイラーと四人それぞれ違います。家畜の体重測定など一人でできないことはお互い協力し合っています。畜産は奥が深く、学べるものがたくさんあるので、日々充実し学生生活を送っています。

## 野菜コース

コース長 淀川浩朗



私たち野菜コースではさまざまな野菜を栽培しています。実習にあたっては、果菜類および葉菜類のグループに分かれて学習しています。現在の主な作業は除草や病害虫防除等の栽培管理です。また、栽培に欠かせない灌水は当番制で実施しており、その結果、立派な野菜に育っています。今から収穫が楽しみです。プロジェクト研究では各人がテーマを決めて、野菜の栽培や調査研究に取り組んでいます。大変ですがやりがいがあり、各人が楽しく学習しています。

## 花きコース

コース長 三村有紀



今年の花きコースは、男子七名、女子三名の総勢十名です。みんな独特の個性を持っている人たちですが、毎日の実習はとても充実しています。主な作業内容は、サルビアなどの育苗、トルコギキョウ、キクなどの栽培、農大祭で販売するシクラメン等の管理、それぞれのプロジェクト研究です。ハウスの中はとても暑く、みんな汗をかきながら一生懸命がんばっています。丹精込めて育てた花が生長していくのを見ていると嬉しくもあり、それがやる気にも繋がります。プロジェクト研究で忙しい人の手伝いを積極的にするとともに思いやりのあるメンバーたちです。

## 果樹コース

コース長 矢澤 泰輔



本年度の果樹コースは男気あふれる男子十二名といやし系の女子一名の総勢十三名です。

伊藤・桜井教授の指導のもと、のびのびとプロジェクト活動や勉学に励んでいます。

それぞれが、自分のプロジェクトの果樹をしつかり管理して、鉄の絆で協力し合い、毎回実りある実習ができています。そのおかげか、今年の果実は雹にも負けず、すくすくと生長しています。私たち十三名も果実に負けず成長して、秋には大きな実を結ぶことでしょう。

## 卒業生からの便り 十八年度卒業生 小木曾啓介

### 「農協に就職して」

私は今年の四月より、J Aみなみ信州に就職し、未熟者ですが見習い営農技術員として頑張っています。農業大学校で勉強したおかげで、基本的なことや先輩技術員の皆さんの話などは理解できますが、仕事をする中でまだまだ覚えることや身につけることが多く、日々勉強の毎日です。仕事をしていく上で、辛く大変なこともあります。私が私のもとと農業が好きで、それに携わった仕事をしているので、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。自分の好きなことを仕事に生かせることは、本当に幸せだと感じています。



### 「自治会長に選ばれて」

他の寮生の仲間が高校を卒業してすぐ県農大に入学して来るのとは違い、私は十三年の会社勤めを経て、入学させていただきました。初めは遠慮していたのですが、一番の年長者ということで、自治会長に仲間から推薦されました。農大で学ぶ二年間は会社勤めでためた貯蓄の自分への投資と考え、仲間とともに農業の基礎知識をしっかりと体得し、将来は我が故郷、小諸で野菜を柱に自立できる農業者としてがんばりたいと考えています。

## 清風寮自治会活動の紹介 二学年自治会長 藤牧隆太

### 「寮生全員が協力してがんばる」

小諸の地にきて、早いもので三カ月が過ぎようとしています。プロジェクト学習等が忙しくなってきましたが、とても充実した生活を送っています。

小諸での自治会活動では一週間に一度、執行部員が集まり、寮生活や自治会活動のことなどを話し合い、より充実した学生生活が送れるように寮生全員が協力して頑張っています。

これからは、夏に行う予定のレクリエーションを提案・企画し、十一月には農大祭もありますので、学生皆で協力して素晴らしい学生生活にしたいと思います。

## 自啓寮自治会活動の紹介 一学年自治会長 柏木 健司



実物鑑定試験

農学演習の一環として「実物鑑定」が五月三十一日に行われました。「実物鑑定」とは、野菜の苗や果樹の枝、稲の穂などを見て、実際に何かを鑑定する演習です。講義で学んだ知識も現物に反映されなければ生きた知識とはいえません。昼休みや授業終了後に遅くまで必死に学んだ成果が生かされ、多くの学生が良い成績をあげました。

最高点をあげた学生二名は、長野県を代表し熊本県で開催される全国農業大学校交換大会に参加します！



川中島合戦の舞台、松代でウォークラリー

四月二十八日、川中島合戦の舞台、松代で二年生が主体となり、新入生の歓迎会が行われました。海津城、真田屋敷、象山大本営地下壕等のポイント地点では教授陣による試験問題が…。

ウォークラリーの後は、海津城の外丸での先輩との交流会。「小諸キャンパスの標高は？」「趣味と将来やりたいコースは？」次々と先輩から浴びせられる質問に新入生たちは四苦八苦。今年の一学年も来年の春には、貫禄ある先輩として新人を迎えられるのかな？

平成20年度長野県農業大学校「総合農学科」学生募集!!

総合農学科は2年間通して学生寮に入寮する、全寮制です。1学年は松代キャンパスの自啓寮、2学年は小諸キャンパスにある清風寮に入寮します。



松代 自啓寮



小諸 清風寮

■人数:60人

■対象:高校卒等 ■修学年限:2年

■専攻コース

作物・畜産・野菜・果樹・花き・農村生活の中から入学後の授業や実習等を通じて専攻コースを決定していただきます。

■資格・特典

○在学中に次の資格・免許の取得のための学習等を行います。毒物劇物取扱者、大型特殊免許（農耕車）、車両系建設機械運転技能、フォークリフト運転技能、小型移動式クレーン運転技能、玉掛け技能、産業用無人ヘリオペレーター技能、家畜人工授精師他

○卒業者は、人事院規則等に基づき、短大卒業と同等に扱われ、また専門士の称号が付与されます。

■推薦入試

願書受付 平成19年10月15日(月)~26日(金)  
入学試験日 平成19年11月21日(水)

■一般入試

願書受付 平成19年12月21日(金)~平成20年1月11日(金)  
入学試験日 平成20年1月21日(月)

■問い合わせ先

長野県農業大学校事務局 TEL026-278-5211(代)